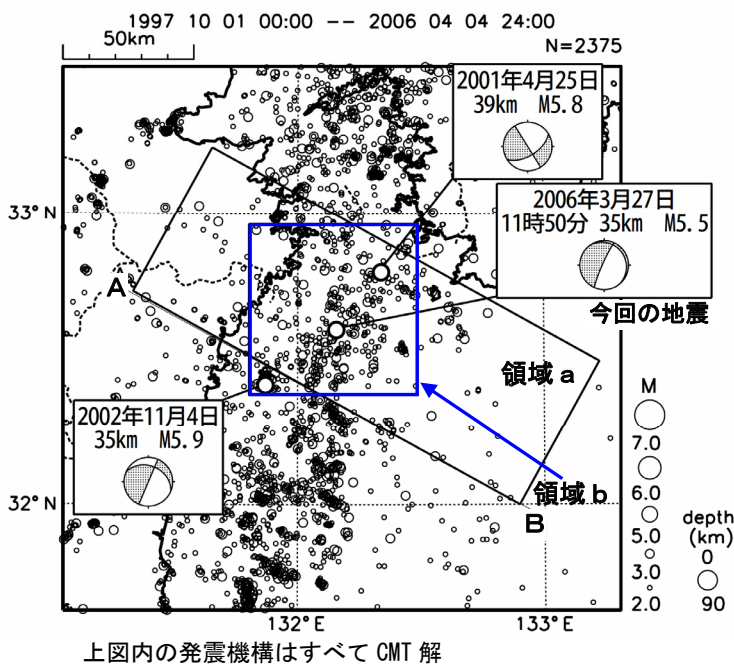


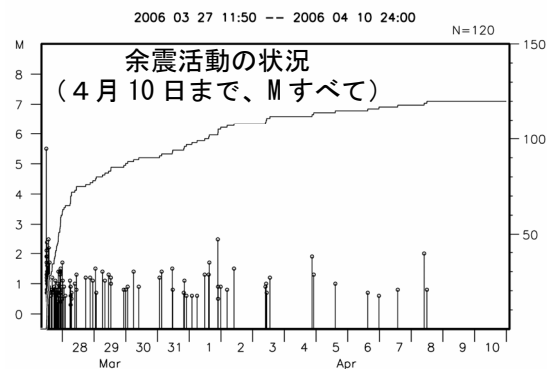
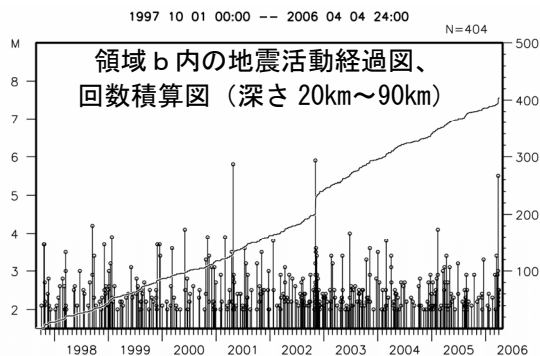
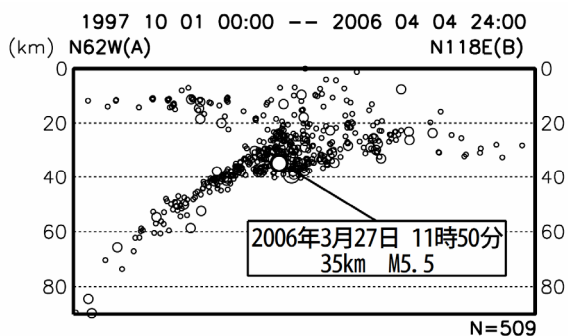
3月27日 日向灘の地震

A

震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 2.0$)



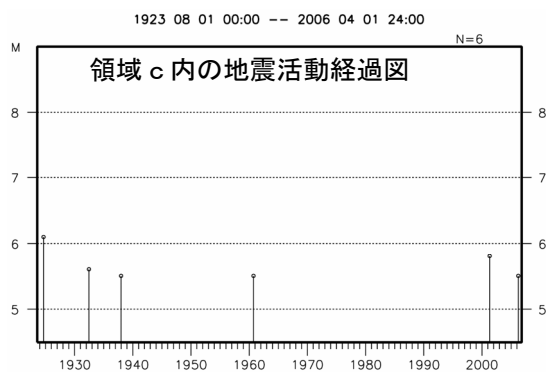
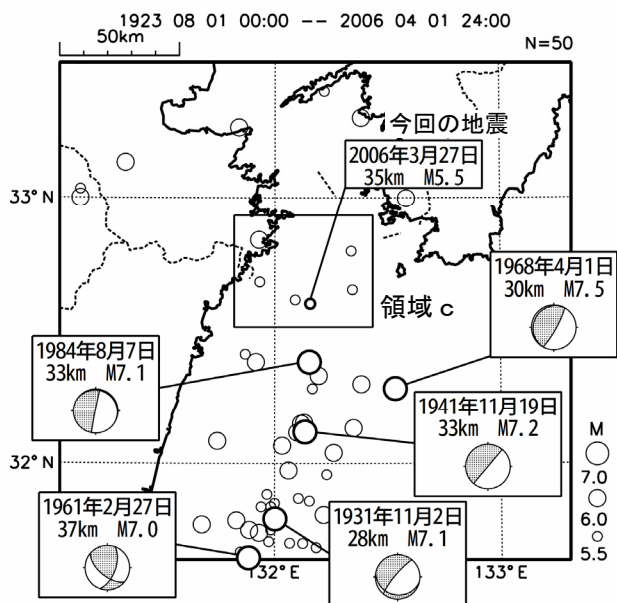
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



3月27日11時50分に日向灘の深さ35kmでM5.5(最大震度5弱)の地震が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。余震活動は小規模ではあるが27日中はやや活発であった。その後散発的に続いていたが、4月上旬まででほぼ収まった。(A)

B

震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 5.5$ 、深さ90km以浅)



1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央よりも南方では、M7.0以上の地震がたびたび発生している。今回の地震が発生した日向灘の北部ではM6.0前後の活動が見られる程度で、M7.0以上の地震は観測されていない。(B)